



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和2年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和2年2月10日(月)

事業名	高齢者総合相談センターの機能の充実 「地域の活力」を生かした高齢者を支えるしくみづくり	予算(案)の概要 47・51 ページ
予算額	令和2年度予算額 547,405千円 (拡充) (前年度予算額 508,881千円)	
取材先	福祉部高齢者支援課長 山本 (電話 03-5273-4598) 福祉部地域包括ケア推進課長 高橋 (電話 03-5273-4192)	

高齢者が地域で暮らし続けられる環境整備

高齢者総合相談センターの機能を充実します

1 高齢者総合相談センターとは

高齢者総合相談センターは、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療等、様々な面から支えるための相談機関です。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等の資格を持った職員が相談を受け、必要に応じて訪問相談にも対応します。



2 令和2年度の事業内容

単身高齢者の割合が高い区の特徴や、介護等が必要な割合が高まる75歳以上の高齢者人口の今後の増加を踏まえ、現在の柏木・角筈高齢者総合相談センターの担当区域を分割し、柏木地域に高齢者総合相談センターを設置します。

- 1 予算額 536,289千円
 - ▶介護保険特別会計…高齢者総合相談センター事業 11所 (510,158千円)
 - ▶一般会計…高齢者総合相談センターの機能の充実 (26,131千円)
- 2 相談体制
高齢者総合相談センター 令和元年度 10所 → 令和2年度 11所

区内の高齢者総合相談センター配置図(令和3年1月～)



【柏木高齢者総合相談センターの概要】

所在地：北新宿三丁目27番6号、北新宿特別養護老人ホーム(かしわ苑)内1階
委託法人：予算成立後に決定
※現在の柏木・角筈高齢者総合相談センターは、名称及び担当区域を変更し角筈高齢者総合相談センターとして角筈地域を担当します。

高齢者の熱中症対策～温度計付シートを配布します！～

近年の酷暑により、多くの高齢者が熱中症になっている現状を踏まえ、高齢者の熱中症を少しでも減らすため、現行の熱中症予防啓発パンフレットの配布に合わせて、温度計付シートを配布することで、さらなる予防啓発を行います。

(予算額 7,699千円)

- 対象…▶75歳以上の一人暮らしの方
▶75歳以上の高齢者のみの世帯の方
- 配布数…24,000枚 ●配布時期…令和2年6月予定



▼温度計付シート(イメージ)

熱中症にご注意ください！

- こまめに水分をとりましょう
- エアコンなどを上手に使いましょう
- 食事や睡眠をしっかりとりましょう

26 28 30 32 °C

注意 危険

引き続き行う対策

熱中症予防啓発パンフレットの作成・配布

熱中症に関する知識を普及啓発し、予防に繋げるため、パンフレットを作成しています。

情報紙「ぬくもりだより」配布対象者や、新たに75歳以上となる単身高齢者等に対し、訪問配布しています。また、「ぬくもりだより」配布辞退者及び75歳以上の高齢者のみで構成される世帯に対して郵送配布するほか、各高齢者総合相談センター等でも配布しています。

まちなか避暑地の実施

暑い時期を無理なく過ごせるよう、6月から9月までの期間、シニア活動館や地域交流館等の高齢者活動・交流施設21か所で「まちなか避暑地」を実施しています。

実施期間中は施設の利用登録がない方でもご利用いただけます。各館の入口付近にのぼりを立て周知を図り、館内では麦茶などの冷たい飲み物をご用意しているほか、涼しげな装飾や「納涼映画祭」の開催など、多くの方にご利用いただけるよう館ごとに工夫した取り組みを行っています。

ぬくもりだより等による広報

75歳以上の一人暮らしの方を対象に、毎月2回配布している情報紙「ぬくもりだより」に、6月～9月は、月1回、熱中症に関する記事を掲載しています。また、健康部とも連携しながら、広報新宿にも熱中症予防に関する記事を掲載するなど、広く周知を図っています。

